



投資環境

2026年5月1日

F R B、政策金利据え置き

— 今回のF O M Cのポイント —

- ✓ 政策金利据え置き
- ✓ 3人が声明文に緩和方向の姿勢を示す文言を残すことに反対
- ✓パウエル議長は、任期終了後も理事として留任する予定

□ 政策金利据え置き

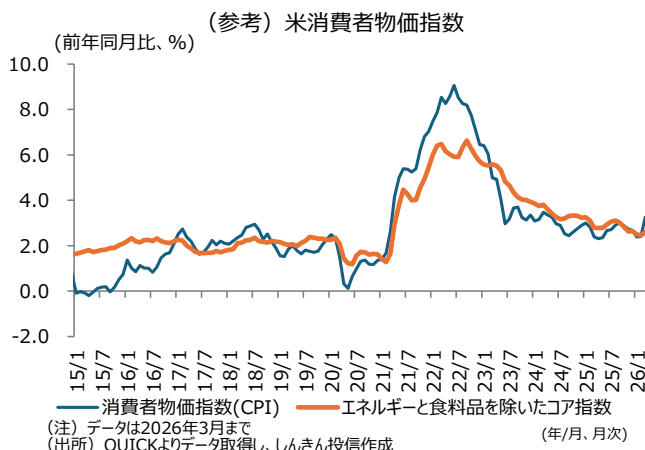
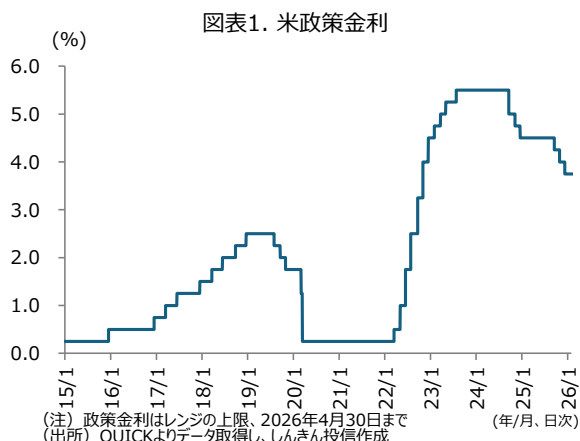
米連邦準備理事会（F R B）は4月28、29日に開いた米連邦公開市場委員会（F O M C）で、中東情勢で経済見通しに対する不確実性が高い中、市場の予想通り政策金利を3.50～3.75%で据え置くことを決めました（図表1）。据え置きは3会合連続です。

3人が政策金利の据え置きに賛成する一方で、声明文に緩和方向の姿勢を示す文言を残すことには反対しました。F R B内で追加利下げに慎重な見方があることが示唆された格好です。

□ 経済見通しに対する不確実性が高い

会合後の記者会見でのパウエル議長の主な発言は以下のとおりです。

- 中東情勢で経済見通しに対する不確実性が高い。
- 現在の金融政策スタンスが雇用の最大化と2%のインフレ目標に向けた進展を促進するために適切であると考えます。利上げが適切であると判断すれば、その旨を確実に示し、実行する。
- 反対に利下げが適切と判断すれば、その逆のシグナルを送る。
- 中東情勢の動きについては、経済見通しに関する高い不確実性をもたらしている。
- 金融政策は決められた路線をたどるわけではない。
- エネルギー価格が高騰していることについては、判断が非常に難しい。
- 現在の緩和的な表現をより中立スタンスに変更することを支持する参加者が前回の会合から増加した。
- 今すぐ利上げが必要だと言っている参加者は1人もいない。
- F R Bの独立性は危機にひんしている。
- 5月15日に議長としての任期が終了した後も、当面は理事として留任する予定。
- 「影の議長」のような振る舞いは決してしない。





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

## ▣ 追加利下げ議論が深まるとの観測が後退

声明文で緩和方向の姿勢を示す文言を残すことに地区連銀総裁らから反対意見が出たことに加え、パウエル氏が議長として任期が切れた後も理事としてFRBにとどまる考えを示したことも、追加利下げ議論が深まるとの観測を後退させた格好です。

年内利上げ無しの市場の織り込みは8割程度と高い水準です。また、来年前半に利上げに動くとの見方も出てきています。

トランプ大統領に次期議長として指名されたFRBのウォーシュ元理事の人事案が4月29日、米議会上院の銀行委員会で可決されました。今後は、上院本会議での採決が必要となりますが、承認の公算が大きいとみられます。

次回6月のFOMCにはウォーシュ氏が議長として臨む見通しです。



(ストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。